

## 年間祭礼

- 1月1日 元旦祭
- 1月7日 七草祭
- 春 春季例大祭
- 6月30日 夏越の祓
- 8月7日 七夕祭
- 秋 秋季例大祭
- 12月31日 年越しの祓  
除夜祭



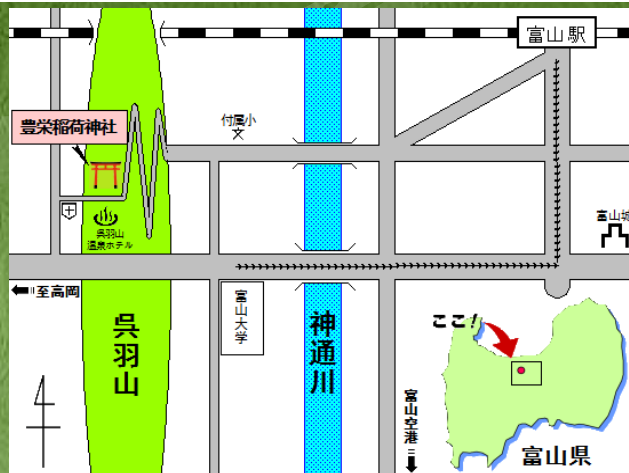
## 文化活動

日本海文化悠学会  
(第四金曜 郷土史愛好者の研究会)

古事記を読む会  
(第一日曜 古事記などの古典研究会)

茶道  
(第二・四火曜日 表千家茶道練習会)

## 交通のご案内



呉羽山公園内 鎮座  
富山駅より車で 約15分  
富山西インターより車で 約15分



市街地から程近い、自然豊かな呉羽山には四季折々の美しい姿があります。

## とよ さか 豊栄稲荷神社

〒930-0115 富山県富山市茶屋町7511  
電話 076-441-6674  
宮司宅 076-431-7270  
<http://toyosakainari.com/>

# 豊栄稲荷神社

富山の薬の祖 前田正甫公ゆかりの宮



# 豊栄稲荷神社と正甫公

まさし



富山藩2代藩主  
前田正甫公

豊栄稲荷神社は宝永元年(1704年)に、富山藩 第2代藩主 前田正甫公によって創建されました。正甫公は、富山藩の財政基盤を築くために「五穀豊穡と産業振興の守護神」として、京都の伏見稲荷大社から御分霊をいただき、お祀りされました。正甫公は諸産業の発展や人々の暮らしを安定させるなど、富山藩の発展に貢献されました。

その中でも「薬」に着目され、「富山売薬」を始められました。そのことから、正甫公は「富山売薬の祖」と呼ばれています。また、それを引き継いだ人々の努力によって「薬都富山」として、今日の富山の発展の一翼を担っています。

## 豊栄稲荷神社のあゆみ

豊栄稲荷神社は、富山藩の主要な米蔵であった「千石蔵」に隣接する稲荷高(いなりのたか)と呼ばれた所に創建されました。藩政時代は「藩祭の宮」となっていたため氏子がなく、明治維新の後は近隣の人たちの手でささやかにお守りされてきた神社です。

昭和20年の富山大空襲で社殿が焼失し、星井町の旧神社地は国道41号線の新設によって3分割され、簡素な仮の社殿が建てられていました。

昭和48年、崇敬者に気持ちよく参拝していただけるようにと、元富山藩主であった前田家のご子孫や、ご先祖が藩士であった方々、経済界の方々が相談され、呉羽山の現在地にお遷りになりました。この地は、豊かな自然に抱かれ、朝に神々しい立山からの朝日に、夕べに二上山に沈む夕日に照らされる景勝の地です。また、前田家墓所や正甫公建立の武運山長久院にも近く、不思議なご縁を感じております。

現在、相殿の薬祖社の神にちなんだ、1月7日の七草の健康祈願祭には多くの方々に参拝いただいております。今後も「薬の祖」前田正甫公ゆかりの、富山の発展を見守られる神社として、多くの方々にお参りいただき、御神徳がますます輝かれることを願っています。

## 御祭神について

豊栄稲荷神社には、主祭神として稲荷大神、相殿の薬祖社、富山藩の前田家の先祖の神の成就天満宮が鎮座されています。

稲荷大神は諸産業の発展を守護される神であり、薬祖の神は人々の健康を守護され、成就天満宮は人々の学業成就を守護される神として皆様方からご信仰をいただいております。

### 成就天満宮



菅原道真公

前田家の祖先神ともいわれ、学問を御守りされる神

### 稲荷大神

**第一神 宇迦乃魂神**  
諸産業の活動を守られる神

**第二神 佐太彦神**  
順調な道筋をつけられる神  
交通安全を守られる神

**第三神 大宮乃売神**  
歌舞、音曲の神  
人の心を和やかにして  
商談をまとめられる神

### 薬祖社

少彦名神  
前田正甫命  
前田利保命  
万代常閑命  
日比野小兵衛命  
松井屋源右衛門命  
八重崎屋源六命

医薬の神と富山売薬  
及び医薬の発展に尽力  
された方々の御霊



1月7日 七草健康祈願祭

御神前で七草を刻み、七草粥を炊きあげます。お祭りの後には、お参り下さった皆様方と七草粥を食し、一年の無病息災を祈ります。



天照大御神 八百万の神々  
がお祀りされています。



境内の配置図



秦伊呂具公

大陸から先進文化を伝え、日本国土の発展に貢献された、秦伊呂具公〔ハタノイロココウ〕、呉羽丘陵を守っておられる、呉服部の神〔クハトリノカミ〕綾服部の神〔アヤハリノカミ〕をお祀りしています。